

立花中だより

尼崎市立立花中学校
校長 福田美貴子
平成22年度 学校だより
第7号(H.22.7.20・火)
<http://cen-web/school/J14/index.html>

5段階評定のつけかた

一昨年(平成20年)の12月と昨年(平成21年)の7月にもお知らせをしましたが、新1年生の保護者の皆様には、お子様にとって始めて5段階評定となる方もいらっしゃると思いますし、保護者の皆様が中学生だった頃とは5段階評定のつけ方(当時は「相対評価」という方法)が変わっていますので、現在行われている「絶対評価」による5段階評定のつけ方を説明します。

兵庫県では、平成14年度から「相対評価」に変わって「絶対評価」が採用されています。「相対評価」は、例えば160人の学年では、“5”は11人、“4”は38人、“3”は85人、“2”は21人、“1”は5人というように各段階の人数配分(比率)がほぼ決まっています。定期テストや小テストの得点、作品や実技テストの結果を得点化したものなどを合計して、評価対象者全体での順位をつけ、人数配分に基づいて評定を決めます。各評定の人数がほぼ決められていますから、中間・期末テストでかなり良い得点をとっても、5がつかないということもありますし、逆に、テストが1になりそうな点数でも、点数の低い人がたくさんいれば、同じような点数の人でも誰かが2や3になるといったこともあります。

これに対して、「絶対評価」は、各単元で4～5つの観点ごとに評価規準に基づいて、A(☑十分満足できると判断される)・B(☑おおむね満足できると判断される)・C(☑努力を要すると判断される)で観点別評価を行い、学期分を合計してその学期の観点の評価「A・B・C」を決め、それを得点化して5段階評定を決定するという方法で行います。

具体的に説明しますと、学期の観点は、満点の80%以上をA、79～50%をB、49%以下をCという基準で、A・B・Cを決定します。次に、観点ごとにAを5点、Bを3点、Cを1点として4～5つの観定の得点を合計し、観点の数で割り、それを四捨五入した数値が5段階「評定」となります。例えば、観点が4つの教科でAが1つ、Bが1つとCが2つ(A・B・C・C)なら、 $(5 + 3 + 1 + 1) \div 4 = 2.5$ で、5段階評定は「3」となります。体育など、教科の特性によって、いずれかの観定の比率を大きくする「重みづけ」をする教科もあります。

絶対評価には、相対評価のような評定ごとの人数配分はありません。ですから、「5」や「4」の人数が多くなることもあれば、「1」や「2」の人数が多くなることもあります。「相対評価」でも同じでしたが、テスト以外の日常の学習活動も評価の対象になりますので、定期テストの点数だけが良くても3や2がつくことがあります。逆に、5教科でも、「知識」と同じ配分で、関心・意欲や思考・判断、技能といった観点を評価しますので、定期テストの点数が少し悪くても4がつくといったこともあります。

1学期の評定は、1年間の評価の途中経過です。1～3学期までを合わせたものが、1年間の成績として進路に関係したり指導要録に記載する年間の評価・評定となります。

市内中学校総体主な結果（阪神総体出場分）

~~竹分~~ 準優勝

~~女子バレーボール~~ 団体戦 第3位

個人戦 古田・和田組、小金・鎌田組
長田・中嶋組

~~男子バレーボール~~ 第3位

~~水泳~~ 男子総合3位

400mドレーラー 第2位（梅澤、伊原、阪本、竹嶋）

400mリレー 第3位（梅澤、宮、阪本、竹嶋）

伊原 100m 平泳ぎ第2位、200m 平泳ぎ第1位

阪本 200m 自由形第1位 宮 400m 自由形第3位 梅澤 200m 背泳ぎ第2位

※これ以外にも、陸上競技部と本校で「クラブ」としての活動は行っていませんが、バドミントン（団体と個人）と体操（個人）が阪神総体に出場します。

男子硬式テニス部は全国大会決定！

これから、阪神大会・県大会（7月下旬）・近畿大会（8月上旬）・全国大会（8月中旬）と続きますが、本校の男子テニス部（硬式）は、一足先に、6月26日・27日に行われた近畿地区代表決定戦で、個人戦での全国大会（8/18～8/20、山口県宇部市）出場が決定しています。7/27からの県大会、8/5からの近畿大会では、団体戦（8/21～8/24）の方の全国大会出場をかけた戦いに挑みます。

シングルス【逸崎 凱人】 ダブルス【逸崎 凱人・石井 勇気】

合唱7-7ショウ7 7/13

2学期の予定でお知らせしていますが、本年度、文化庁の事業で「子どものための優れた舞台芸術体験」に当選し、10/4（月）に、大阪フィルハーモニー交響楽団が本校の体育館で演奏をすることになりました。その時に、大フィルの演奏で「校歌」と「翼をください」を全員で合唱するコーナーがありますので、先日、合唱指導者の山中雅博さんとピアニストの福田佳奈さんを招いて、「合唱ワークショップ」が行われました。

300校中ベスト3の校歌

お二人の素晴らしい演奏を聴いたり、700～800ある歌を唱うコツの中の幾つかを伝授してもらったのですが、山中さんは、「立花中の校歌は、これまでまわった300校程の中でもベスト3に入る素晴らしい校歌ですね。」とおっしゃいました。嬉しかったですね。

また、言葉を発することの大切さやこの仲間達と一生の中で今しかできないことを大切にしてほしいというメッセージなど、とても大切なことを伝えていただいたように感じました。

（編集責任者：教頭 福井 隆夫）